

**製品名: オンコジーン TIM ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab15351**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	60kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ARHGEF5
別名	ARHGEF5; TIM; Rho guanine nucleotide exchange factor 5; Ephexin-3; Guanine nucleotide regulatory protein TIM; Oncogene TIM; Transforming immortalized mammary oncogene; p60 TIM
遺伝子 ID	7984.0
SwissProt ID	Q12774
免疫原	抗血清はヒト ARHGEF5 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1280-1330

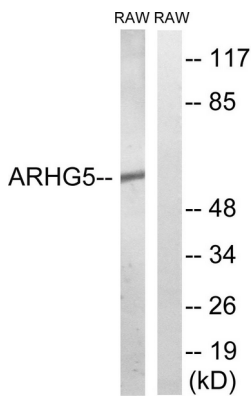
**背景**

Rho GTPaseは、Gタンパク質共役受容体を介して作用する細胞外刺激によって開始される多くの細胞プロセスにおいて基本的な役割を果たします。コードされているタンパク質はGタンパク質と複合体を形成し、Rho依存性シグナルを刺激する可能性があります。このタンパク質は細胞骨格の組織化の制御に関与している可能性があります。[RefSeq提供、2008年7月]類似性: DH (DBL相同)ドメインを1つ含みます。類似性: PHドメインを1つ含みます。類似性: SH3ドメインを1つ含みます。組織特異性: 主に腎臓、肝臓、脾臓、肺、胎盤で発現します。、

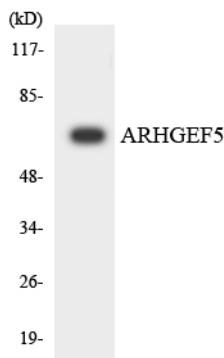
## 研究分野

アクチンダイナミクスの制御; AMPK

## 画像データ



RAW264.7細胞ライセートのARHG5抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



ARHG5抗体を使用したK562細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。